

八月に アジア舞踊会議

ニューヨークの伊藤さち子さんも参加



が合同で組織したもので、クック二百年祭を記念してハワイで開催されることになったもの。会議と並行して舞踊祭も行われる。

この催しには、日本、スリランド、インド、マレーシア、パリ、ジャバ、フィリピン、タイなどの各地から参加者があるが、その中での特異色は、一九七二年以来米本土で舞踊公演、教授活動を続けている花柳桜園こと伊藤さち子さん。

伊藤さんは、七才の時から花柳流の修業を積んで一九六八年に名取りになり、一九七三年に平和国際奨学金を得てニューヨーク大学で舞踊学修士号を取得した人。一九七五年からは同大学教育学部舞踊科で講義（日本の文化、歴史、宗教など）と舞踊の実技を教えている。今回の大会では、自身の実技講演の他、本田安次博士の講義も助けるとい

う。伊藤さんは、米本土東部

「二十世紀における伝統舞踊—アジアと太平洋の舞踊を重点に」というテーマの同会議は、アメリカン・ダンス・ギルド（ADG）と舞踊研究委員会（CORD）

東洋と西洋の著名な学者と舞踊家を集めたユニークな会議が、来る八月一日から七日までハワイ大学マノア本校で行われることになった。



で活動を続けている数少ない日本舞踊家の一人で、先般ブロードウェイで好評を博したミュージカル「太平洋序曲」のキャストに舞踊を教え、いくつかの振付も担当している。

ニューヨーク・タイムズ紙は伊藤さんを評して「彼

女の動作は注意深く積み重ねられ、余分なものが浄化されている。ゆっくると例外的な優雅さで物語を進めたり、雰囲気を作したりする」と述べている。

写真は公演中の伊藤さんと種古場風景